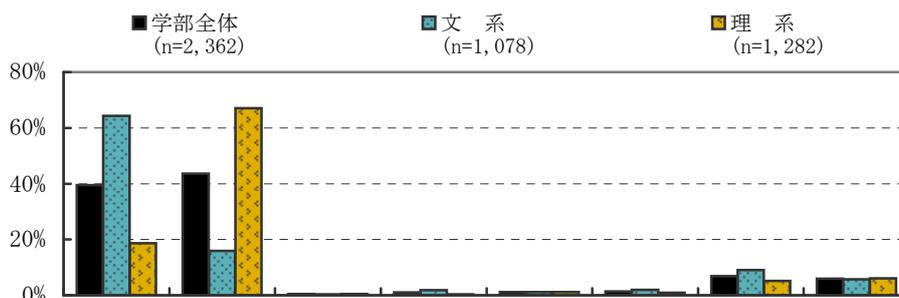


第4章 就職について

1. 卒業後・修了後の進路希望

卒業後・修了後の進路希望について、学部生では、「大学院へ進学」が43.6%と最も高く、次いで「就職（研修医等を含む）」が39.5%であり、ここまですべて8割以上である。
一方、大学院生では、「就職（研修医等を含む）」が70.8%と極めて高い。

図表4-1 学部卒業後の進路希望（学部）



		合計	就職 (研修医等 を含む)	大学院へ 進学	他大学・ 他学部へ 編入学	資格をとる ための勉強 を続ける	海外へ留学	その他	まだ 考えて いない	無回答
学部全体		2,362	39.5%	43.6%	0.5%	1.0%	1.2%	1.4%	6.9%	5.9%
性別	男	1,468	30.7%	52.9%	0.6%	1.0%	1.2%	1.4%	6.5%	5.7%
	女	889	53.9%	28.5%	0.2%	0.9%	1.2%	1.5%	7.5%	6.3%
文系・ 理系別	文系	1,078	64.3%	15.9%	0.4%	1.8%	1.1%	1.9%	9.0%	5.7%
	理系	1,282	18.6%	67.1%	0.5%	0.3%	1.2%	0.9%	5.1%	6.1%
学年別	1・2年生	1,072	37.8%	39.8%	0.6%	1.2%	1.4%	1.6%	10.9%	6.7%
	3年生以上	1,284	41.0%	46.8%	0.4%	0.8%	0.9%	1.2%	3.6%	5.2%
住居 区分別	自宅	932	41.0%	42.2%	0.2%	0.9%	0.5%	1.8%	7.6%	5.8%
	自宅外	1,423	38.6%	44.8%	0.6%	1.1%	1.6%	1.1%	6.3%	5.9%

図表4-2 大学院修了後の進路希望（大学院）



		合計	就職 (研修医等 を含む)	大学院へ 進学	他大学・ 他学部へ 編入学	資格をとる ための勉強 を続ける	海外へ留学	その他	まだ 考えて いない	無回答
大学院全体		1,301	70.8%	10.5%	0.1%	2.9%	2.1%	3.7%	5.1%	4.8%
性別	男	904	73.6%	10.1%	-	2.4%	2.0%	3.3%	4.6%	4.0%
	女	391	64.5%	11.5%	0.3%	4.1%	2.3%	4.6%	5.9%	6.9%
文系・ 理系別	文系	345	53.9%	13.3%	0.3%	9.9%	2.0%	5.8%	8.7%	6.1%
	理系	955	76.9%	9.5%	-	0.4%	2.1%	2.9%	3.8%	4.4%
課程 区分別	博士前期（修士）	967	74.1%	13.2%	0.1%	0.9%	0.8%	2.2%	4.1%	4.4%
	博士後期（博士）	334	61.1%	2.7%	-	8.7%	5.7%	8.1%	7.8%	6.0%
住居 区分別	自宅	408	69.1%	10.5%	-	2.2%	1.2%	6.4%	5.1%	5.4%
	自宅外	888	71.7%	10.4%	0.1%	3.3%	2.5%	2.4%	5.1%	4.6%

2. 就職に対する不安

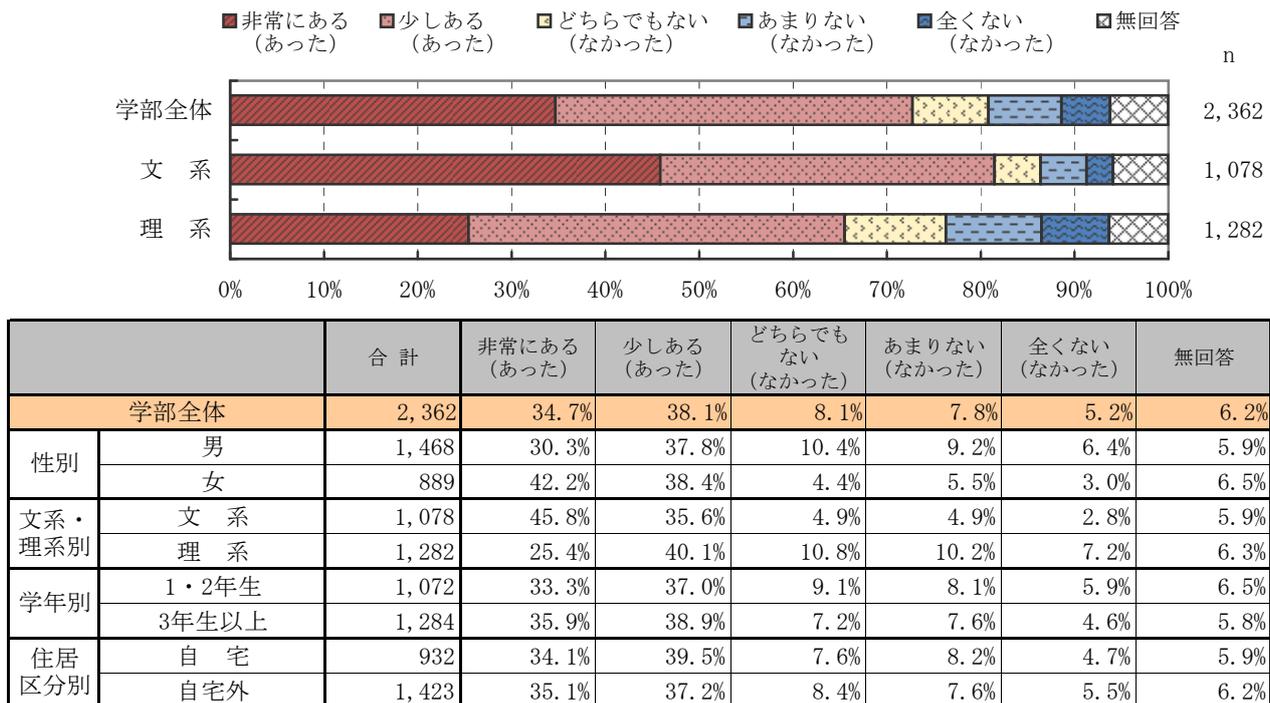
(1) 就職に対する不安の有無

就職に対する不安の有無について、「非常にある（あった）」「少しある（あった）」を合わせた“不安がある（あった）”学部生は72.8%、大学院生は73.5%である。

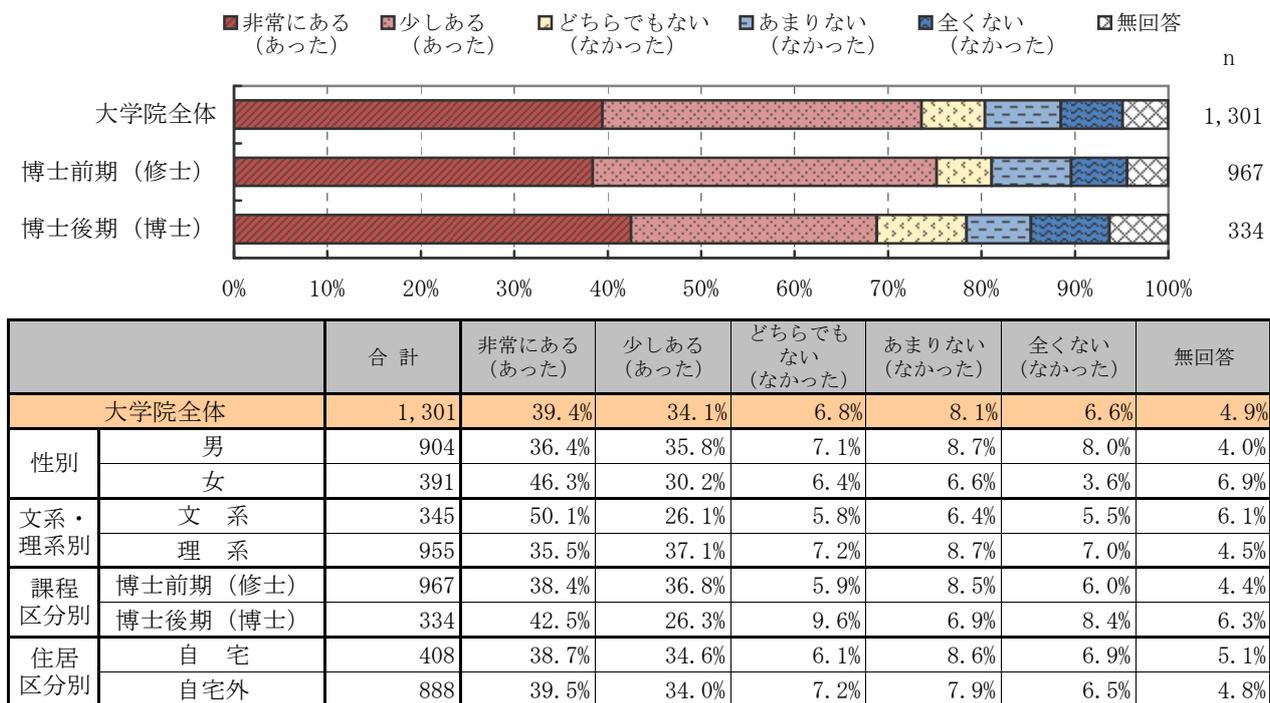
回答者属性別に見ると、学部生では、「文系・理系別」の差異が最も大きく、文系学生では“不安がある（あった）”は81.4%であるのに対し、理系学生では65.5%に留まる。

一方、大学院生では、「課程区分別」の差異が最も大きい、博士前期（修士）で75.2%、博士後期（博士）で68.8%であり、両者の開きは約6ポイントである。

図表4-3 就職に対する不安の有無（学部）



図表4-4 就職に対する不安の有無（大学院）

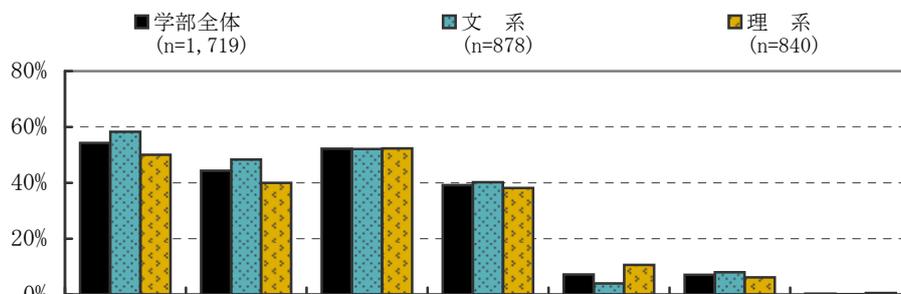


(2) 就職に不安を感じる点

就職に対する不安が「非常にある（あった）」「少しある（あった）」回答者に対して、就職に不安を感じる点について質問したところ、学部生・大学院生ともに「希望の企業に就職できるか」（ともに54.3%）が最も高い。次点として、学部生は「自分の能力と適性を把握できていない」（52.2%）、大学院生は「就職難な社会情勢」（38.6%）が挙げられる。

図表4-5 就職に不安を感じる点（学部）【複数回答】

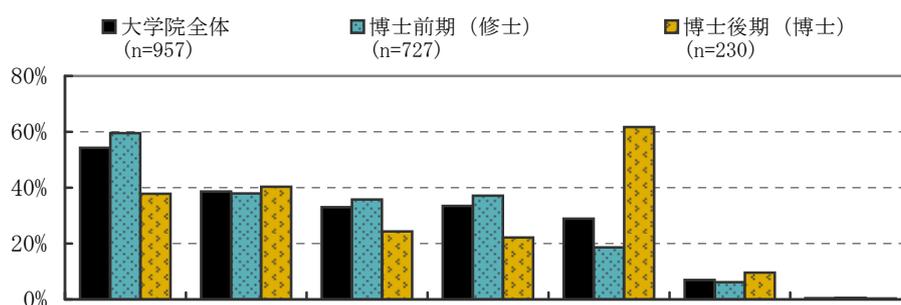
※就職に対する不安が「非常にある」「少しある」回答者のみ



		合計	希望の企業に就職できるか	就職難な社会情勢	自分の能力と適性を把握できていない	会社・社会に適応できるか	博士課程修了後の就職先	その他	無回答
学部全体		1,719	54.3%	44.3%	52.2%	39.2%	7.2%	7.1%	0.3%
性別	男	1,000	52.8%	41.6%	52.3%	38.9%	9.1%	7.4%	0.4%
	女	716	56.4%	48.2%	52.1%	39.5%	4.6%	6.7%	0.3%
文系・理系別	文系	878	58.3%	48.4%	52.1%	40.2%	4.0%	8.0%	0.1%
	理系	840	50.1%	40.0%	52.3%	38.2%	10.6%	6.2%	0.6%
学年別	1・2年生	754	53.2%	51.6%	53.1%	36.7%	6.6%	6.8%	0.4%
	3年生以上	960	55.4%	38.6%	51.4%	41.1%	7.7%	7.3%	0.3%
住居区分別	自宅	686	51.7%	47.2%	50.0%	39.5%	7.3%	7.1%	0.1%
	自宅外	1,030	55.9%	42.2%	53.5%	39.0%	7.2%	7.0%	0.5%

図表4-6 就職に不安を感じる点（大学院）【複数回答】

※就職に対する不安が「非常にある」「少しある」回答者のみ



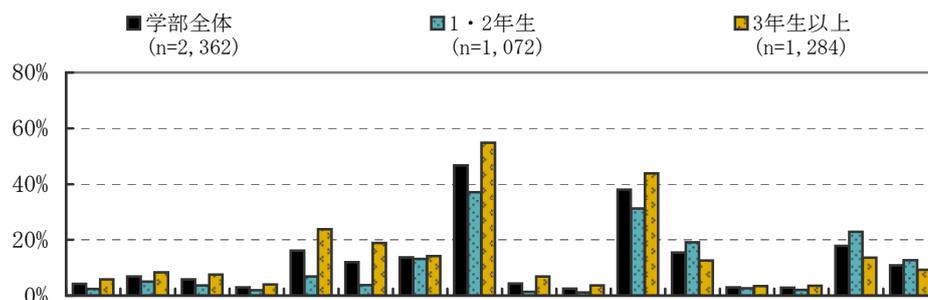
		合計	希望の企業に就職できるか	就職難な社会情勢	自分の能力と適性を把握できていない	会社・社会に適応できるか	博士課程修了後の就職先	その他	無回答
大学院全体		957	54.3%	38.6%	33.0%	33.5%	28.9%	7.0%	0.5%
性別	男	653	56.2%	39.4%	33.1%	33.1%	26.3%	6.1%	0.8%
	女	299	50.8%	36.1%	32.8%	34.1%	34.8%	9.0%	-
文系・理系別	文系	263	39.5%	38.8%	25.5%	26.2%	43.3%	11.8%	0.4%
	理系	693	60.0%	38.4%	35.8%	36.4%	23.4%	5.2%	0.6%
課程区分別	博士前期（修士）	727	59.6%	38.0%	35.8%	37.1%	18.6%	6.2%	0.6%
	博士後期（博士）	230	37.8%	40.4%	24.3%	22.2%	61.7%	9.6%	0.4%
住居区分別	自宅	299	52.2%	39.8%	31.1%	37.1%	27.4%	8.7%	1.0%
	自宅外	653	55.6%	38.0%	33.8%	31.9%	29.4%	6.3%	0.3%

3. 就職情報の入手経路と希望する情報

(1) 就職情報の入手経路

就職情報の入手経路について、学部生では、「インターネット情報」が46.7%と最も高く、次いで「先輩・知人」が38.0%、「その他」が17.9%、「学内開催の会社説明会」が16.1%、「親・親戚」が15.5%、「新聞・就職情報誌」が13.7%、「学外開催の会社説明会」が12.0%と続く。

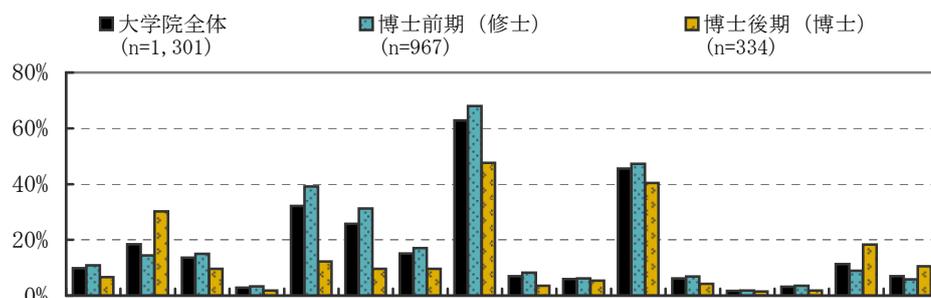
図表4-7 就職情報の入手経路（学部）【複数回答】



		合計	就職担当教員	指導教員	「阪大就職支援システム」の求人情報など	学生センターの「(全学対象) 就職相談室」	学内開催の会社説明会	学外開催の会社説明会	新聞・就職情報誌	インターネット情報	ダイレクトメール	直接会社に照会	先輩・知人	親・親戚	学内図書館の「キャリア支援図書コーナー」	学生センターにある就職情報コーナー	その他	無回答
学部全体		2,362	4.2%	6.9%	5.8%	3.0%	16.1%	12.0%	13.7%	46.7%	4.4%	2.5%	38.0%	15.5%	3.0%	2.9%	17.9%	10.9%
性別	男	1,468	4.4%	7.7%	5.0%	2.2%	14.6%	10.4%	13.3%	43.3%	3.6%	2.5%	37.9%	15.4%	1.8%	1.7%	20.1%	11.2%
	女	889	4.0%	5.5%	7.3%	4.5%	18.7%	14.7%	14.4%	52.2%	5.6%	2.6%	38.4%	15.7%	5.1%	4.9%	14.4%	10.3%
文系・理系別	文系	1,078	2.2%	2.9%	8.7%	5.1%	24.3%	18.6%	18.8%	57.0%	7.1%	4.0%	38.4%	17.3%	5.1%	4.5%	16.3%	9.4%
	理系	1,282	5.9%	10.2%	3.4%	1.3%	9.2%	6.5%	9.4%	38.1%	2.0%	1.3%	37.8%	14.1%	1.3%	1.6%	19.3%	12.1%
学年別	1・2年生	1,072	2.4%	5.0%	3.7%	2.0%	6.9%	3.8%	13.2%	37.1%	1.4%	1.2%	31.2%	19.1%	2.6%	2.1%	22.9%	12.7%
	3年生以上	1,284	5.8%	8.4%	7.6%	4.0%	23.8%	18.9%	14.2%	54.8%	6.9%	3.7%	43.8%	12.6%	3.4%	3.6%	13.6%	9.3%
住居区分別	自宅	932	4.6%	6.2%	5.5%	3.8%	17.0%	12.3%	14.6%	44.1%	3.6%	2.7%	36.4%	17.2%	3.2%	2.8%	19.0%	11.5%
	自宅外	1,423	4.0%	7.3%	6.0%	2.6%	15.5%	11.8%	13.2%	48.3%	4.8%	2.5%	39.3%	14.4%	3.0%	3.0%	17.1%	10.4%

就職情報の入手経路について、大学院生では、「インターネット情報」が62.8%と最も高く、次いで「先輩・知人」が45.5%、「学内開催の会社説明会」が32.2%、「学外開催の会社説明会」が25.7%、「指導教員」が18.4%、「新聞・就職情報誌」が15.1%、「阪大就職支援システム」の求人情報などが13.6%と続く。

図表4-8 就職情報の入手経路（大学院）【複数回答】



		合計	就職担当教員	指導教員	「阪大就職支援システム」の求人情報など	学生センターの「(全学対象) 就職相談室」	学内開催の会社説明会	学外開催の会社説明会	新聞・就職情報誌	インターネット情報	ダイレクトメール	直接会社に照会	先輩・知人	親・親戚	学内図書館の「キャリア支援図書コーナー」	学生センターにある就職情報コーナー	その他	無回答
			大学院全体	1,301	9.8%	18.4%	13.6%	2.9%	32.2%	25.7%	15.1%	62.8%	7.0%	6.0%	45.5%	6.2%	1.7%	3.2%
性別	男	904	11.5%	19.6%	12.8%	2.5%	35.4%	27.5%	15.2%	63.6%	6.6%	5.2%	47.1%	6.0%	1.8%	2.7%	10.6%	6.0%
	女	391	5.9%	15.9%	15.6%	3.8%	25.1%	21.7%	15.1%	61.1%	7.9%	7.9%	41.7%	6.9%	1.5%	4.3%	12.5%	9.2%
文系・理系別	文系	345	3.2%	16.8%	13.0%	2.9%	15.9%	15.4%	10.7%	52.8%	4.6%	6.7%	38.0%	7.5%	2.9%	3.8%	15.9%	10.1%
	理系	955	12.0%	19.0%	13.8%	2.9%	38.1%	29.5%	16.6%	66.5%	7.9%	5.8%	48.2%	5.8%	1.3%	2.9%	9.6%	5.9%
課程区分別	博士前期 (修士)	967	10.9%	14.4%	15.0%	3.3%	39.1%	31.3%	17.0%	68.0%	8.2%	6.2%	47.3%	6.9%	1.8%	3.6%	8.9%	5.8%
	博士後期 (博士)	334	6.6%	30.2%	9.6%	1.8%	12.3%	9.6%	9.6%	47.6%	3.6%	5.4%	40.4%	4.2%	1.5%	1.8%	18.3%	10.5%
住居区分別	自宅	408	8.1%	18.6%	11.0%	3.2%	29.4%	21.3%	12.3%	55.9%	8.3%	5.6%	41.4%	7.1%	1.5%	2.5%	14.2%	8.3%
	自宅外	888	10.6%	18.2%	14.8%	2.8%	33.7%	27.9%	16.4%	66.0%	6.4%	6.2%	47.2%	5.5%	1.8%	3.5%	10.0%	6.4%

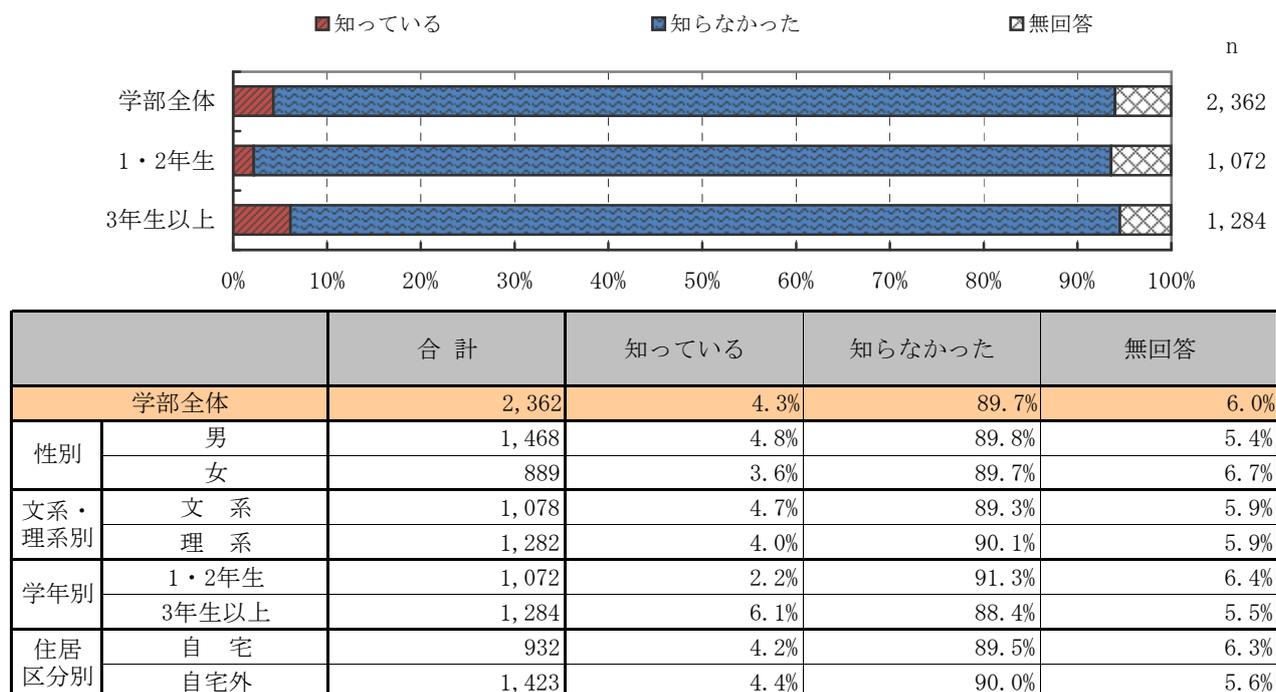
(2) 「阪大 就職支援システム（求人情報）」が既卒者利用可であることの認知状況

阪大 就職支援システム（求人情報）が既卒者利用可であることの認知状況について、学部生の89.7%、大学院生の86.5%が「知らなかった」と回答している。

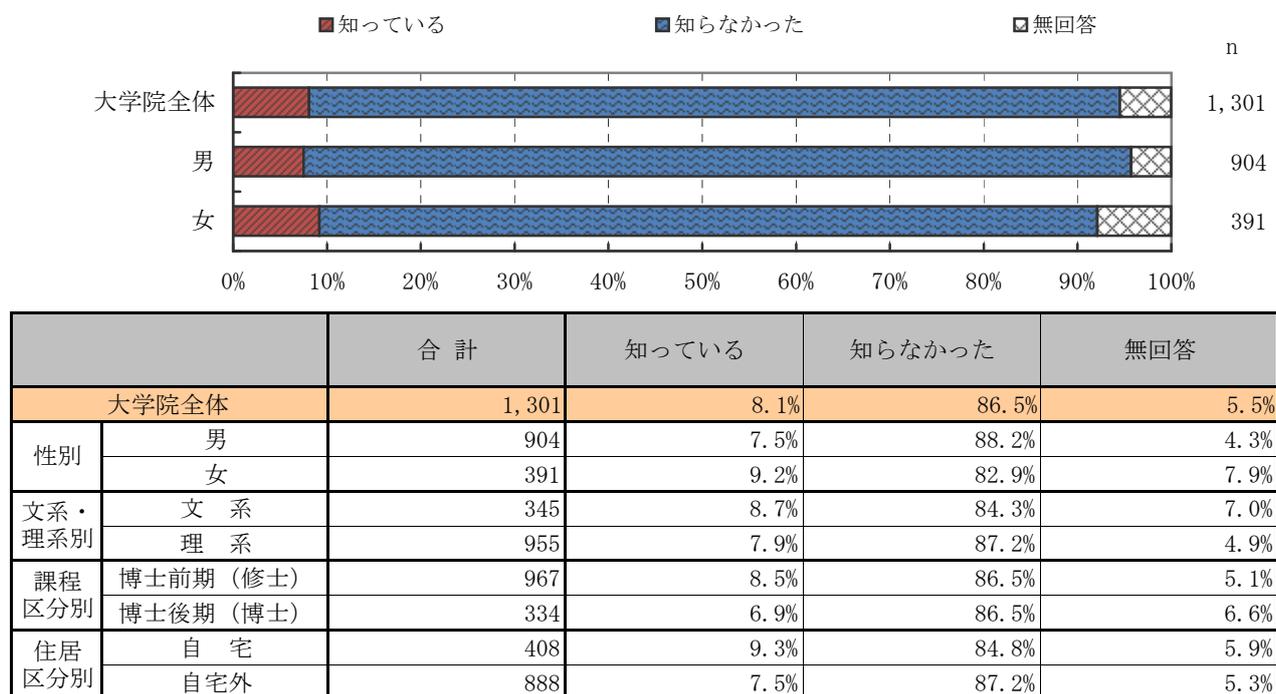
回答者属性別に見ると、学部生では、「学年別」の差異が最も大きい。1・2年生は91.3%、3年生以上は88.4%であり、両者の開きは約3ポイントである。

一方、大学院生では、「性別」の差異が最も大きい。男は88.2%、女で82.9%であり、両者の開きは約5ポイントである。

図表4-9 「阪大 就職支援システム（求人情報）」が既卒者利用可であることの認知状況（学部）



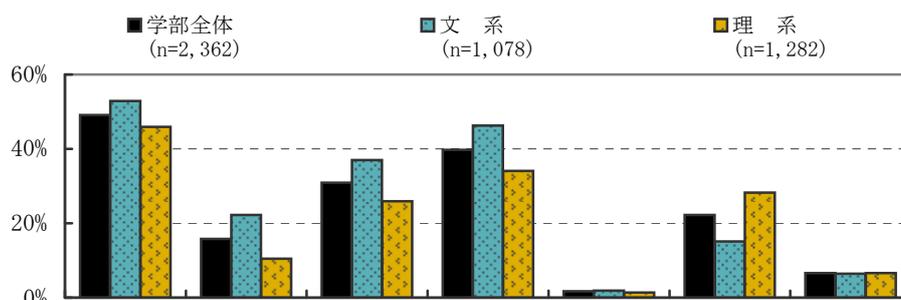
図表4-10 「阪大 就職支援システム（求人情報）」が既卒者利用可であることの認知状況（大学院）



(3) 大学に希望する就職情報

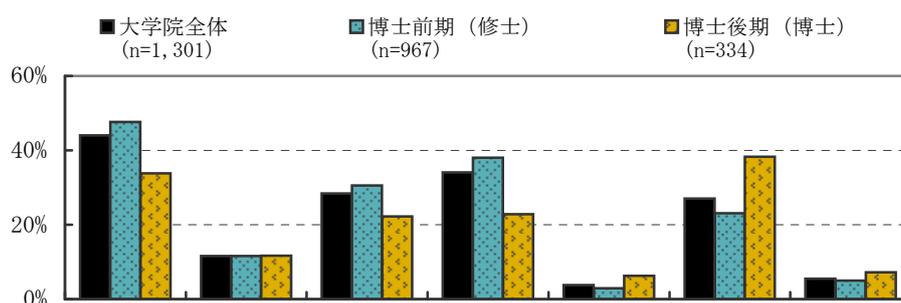
大学に希望する就職情報について、学部生・大学院生ともに「就職ガイダンスの充実」（学部生の49.1%、大学院生の44.0%）が最も高く、次いで「インターンシップ（在学中の企業での研修）」（学部生の39.7%、大学院生の34.1%）、「就職相談の充実」（学部生の30.9%、大学院生の28.4%）と続く。

図表4-11 大学に希望する就職情報（学部）【複数回答】



		合計	就職ガイダンスの充実	公務員試験説明会の充実	就職相談の充実	インターンシップ（在学中の企業での研修）	その他	特になし	無回答
学部全体		2,362	49.1%	15.8%	30.9%	39.7%	1.7%	22.2%	6.6%
性別	男	1,468	46.9%	14.7%	28.5%	35.4%	1.8%	25.3%	6.2%
	女	889	52.6%	17.8%	35.0%	46.9%	1.5%	17.0%	7.1%
文系・理系別	文系	1,078	52.9%	22.2%	37.0%	46.3%	1.9%	15.1%	6.4%
	理系	1,282	45.9%	10.5%	25.9%	34.1%	1.4%	28.2%	6.6%
学年別	1・2年生	1,072	47.6%	19.2%	31.5%	40.4%	1.0%	22.1%	6.9%
	3年生以上	1,284	50.4%	13.1%	30.5%	39.1%	2.2%	22.2%	6.2%
住居区分別	自宅	932	48.9%	14.1%	30.7%	41.7%	1.4%	21.5%	6.7%
	自宅外	1,423	49.1%	17.0%	31.2%	38.2%	1.8%	22.8%	6.4%

図表4-12 大学に希望する就職情報（大学院）【複数回答】



		合計	就職ガイダンスの充実	公務員試験説明会の充実	就職相談の充実	インターンシップ（在学中の企業での研修）	その他	特になし	無回答
大学院全体		1,301	44.0%	11.6%	28.4%	34.1%	3.8%	27.0%	5.5%
性別	男	904	46.3%	11.9%	27.3%	33.6%	4.2%	27.2%	4.3%
	女	391	39.4%	11.0%	31.2%	35.3%	2.8%	26.1%	8.2%
文系・理系別	文系	345	31.6%	14.8%	29.0%	30.7%	3.8%	29.9%	7.5%
	理系	955	48.6%	10.5%	28.3%	35.2%	3.8%	26.0%	4.8%
課程区分別	博士前期（修士）	967	47.6%	11.6%	30.6%	38.0%	2.9%	23.1%	5.0%
	博士後期（博士）	334	33.8%	11.7%	22.2%	22.8%	6.3%	38.3%	7.2%
住居区分別	自宅	408	44.9%	13.0%	28.2%	35.0%	2.9%	25.7%	5.9%
	自宅外	888	43.7%	10.9%	28.4%	33.7%	4.2%	27.5%	5.4%